

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	トータスジュニア上三川		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 15日		R8年 2月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	R8年 2月 24日		R8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 4月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	教室が広い、クールダウンができるスペースや、複数の集団療育が行える環境を作ることができている点	掲示物や、子どもたちが使わないものは極力、倉庫などにしまい、子どもたちが気にならないような教室作りを行っている。	教室内の動線や掲示物の配置について定期的に見直し、より快適な活動環境を維持する。
2	お子様や保護者様のご意向を確認し、ニーズに合った計画書の作成をしている点	子どもたちとの意思疎通を図るためにもフィードバックなどを繰り返し最善の策を職員全体で考え、共有している。	子どもたちと意思疎通を図る為にも、職員全体で話し合う時間を今まで以上に設ける。
3	お子様の普段の様子を送迎やお迎えに来た際に細かく説明ができていない点	保育園にお迎えに行った際に、園の職員さんと園や事業所での様子をお話をし共有を行っている。	園の職員さんに事業所での活動を見ていただいたり、園での様子を見させていただくような機会を設けていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部評価や地域連携の仕組みが十分にできていない点	第三者評価の実施や定期的な地域機関などとの交流の実例がまだないこと	外部評価の導入や地域連携の定期的な仕組み作りを職員間で検討・実施していく
2	児童発達支援のお子様向けの勉強会や研修が少ない点	一人ひとりの特性に応じた支援のバリエーションが少ないため	積極的に児童発達支援のお子様向けの研修や勉強会を実施を行う
3	地域の中でほかのお子様と活動する機会が少ない点	地域との連携が十分に取れていないため	地域のほかのお子様に参加できる計画を作成、実施を行うことで連携を図っていく